

ク ー リ ー フ と う つ う か ん り よ う こ う し ゅ う は

Coolief疼痛管理用高周波システム 治療のご案内

Coolief 疼痛管理用高周波システムとは？

痛みを感じる神経（感覚神経といいます）に対して、高周波（ラジオ波と呼ばれる電磁波）を流し感覚神経を部分的に焼灼（しょうしゃく：組織を焼いて破壊する外科的治療法）し、痛みを軽減する治療です。

対象となる疾患

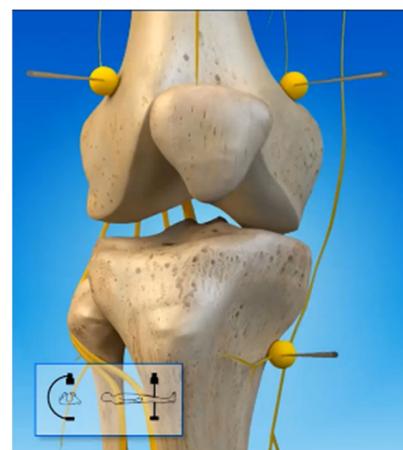
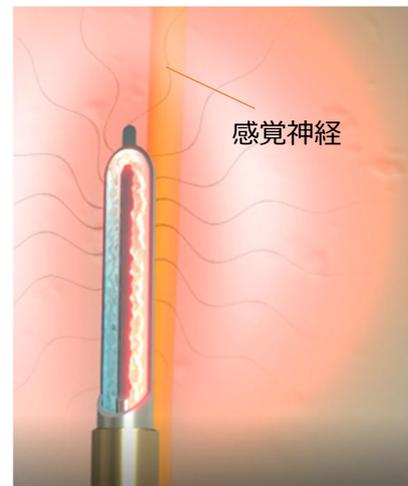
変形性膝関節症と診断された患者さまの中で、お薬やヒアルロン酸注入など関節内注射の治療を行っても痛みが軽減しない患者様が対象となります。

治療の特徴

- ・ 変形性膝関節症と診断された膝に針を刺します。
- ・ 焼灼する前に膝の感覚神経が、痛みを軽減するか？少量の麻酔薬を使い、除痛を確認します。（診断テストブロックといいます）
- ・ 1度の治療で3つの膝の感覚神経を焼灼します。
- ・ 治療は局所麻酔を使います。
- ・ 安静後、治療前と同様に歩行が可能です。

治療の流れ

1. 変形性膝関節症と診断された膝に超音波エコーで診断テストブロックを行います。
2. 痛み度合いを確認します。痛みが半分以下に少なくなれば治療に進みます。
3. 再度、変形性膝関節症と診断された膝に超音波エコーで焼灼用の針を刺し、焼灼します。
4. 3つの膝感覚神経の焼灼は、40分程度の治療時間です。



治療で予想される利益/不利益について

予想される利益

治療後 6 ヶ月時点で、治療前よりも痛みを感じる程度が 50%減った患者様の割合は 74.1%でした。一方で、従来の治療方法の一つであるステロイド関節注射で、痛みを感じる程度が 50%減った患者様の割合は 16.2%でした。Coolief 疼痛管理用高周波システムの治療で、痛みを抑える割合が高かったと報告されています。

予想される不利益

Coolief 疼痛管理用高周波システムには効果だけではなく、機器の不具合や副作用もあります。現在までの試験の結果、治療する機器に関連する場合、関連しない場合を含め以下のような症状が報告され、出現する可能性があります。

1. ケーブル類の不具合、コネクタ部の接続不良および不具合、プローブの不具合など
2. 熱傷、痙攣・筋収縮、局所感染、神経血管損傷および異常感覚、疼痛の増悪、その他予期せぬ合併症
3. 皮膚かぶれ、発赤、皮下出血

Coolief 疼痛管理用高周波システムは、焼灼術用電気手術ユニットとして、令和 4 年 9 月 6 日に厚生労働省の薬事承認を取得しています。

